

作目別現地等試験実施結果概要：カーネーション

カーネーション課題と展示・試験結果の概要（S45～59）

NO, 1

番号	年度	課題名	設置場所	担当者	試験区の内容	結果の概要	今後の検討事項
1	45	切花の貯蔵に関する試験	長野園試		8/29～9/20、7品種0、10、20℃でガラス箱詰と水挿し貯蔵、期間5、11、16日	箱詰0℃でイロシム、ホト、ローズピター 11日以内、10℃でペパーシト他5日以内、水挿しで0℃で大分1号16日以内、粧、ペパーシト他8日以内貯蔵可能、水揚げ花持ち当日切花と変わらない	若切り、赤色系の花色黒変
2	46	生育初期の奇形葉、発生原因究明と対策	池田町	中原 さん	土壌分析 N/10H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 処理	発生個所 PH(Kcl) 7.2、EC 0.15ms/cm <sup>2</sup> 、P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 2.5mg/乾土100g、生育良 PH 6.8、EC 0.2ms/cm <sup>2</sup> 、P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 0.5mg/乾土100g、高PH。1/10NH <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> （≠333倍）原液2.5%/10aで奇形回復。	NH <sub>4</sub> -N高との関連
3	46	斑点性不明病害の対策	池田町	宮沢 さん SP	斑点病に似た黒点多発	ヘテロスポリウム菌による黒点病、散布薬剤をオーソサイド等にかたよらせない、マンネブ剤の散布等が良	
4	46	1回目の摘芯節位とその後の生育調査	池田町	内山 さん	1～4節の摘芯、2月	1-2節では萌芽 生育著しく遅れる。3節から生育良いが、4節ではなお良	
5	47	生育開花に及ぼす温度の影響	信大		5月植え、昼35-夜12、35-10、20-25、20-10、自然温による生育差、修正ピンチとの関連	昼の高温：ボリュームの低下、側芽発生量の低下、節位の上昇、花の大きさ、斑数、色素量の減少、節数多くなり、発蕾～発色、開花までの日数が短くなる。ガク割れ、多芯花の増加。 夜の高温：ボリューム低下、萌芽数の減少、発生節位の上昇、発蕾～発色、開花までの日数、着蕾までの日数も短くなる。 昼夜の温差大きいと、草丈、色素量の低下、発蕾までの日数短縮。 修正ピンチの1番花、ボリューム優れる、側枝の生育劣る、発蕾までの日数長びく、ガクワレ率低下する。	
6	47	採穂専用母株に対するN施用濃度が採穂能率及び穂の品質に及ぼす影響	信大		N 0、75、150、300、600PPm液を7日毎に施用6～11月。 土壌、植物体分析	生育、採穂能率、300、600PPm区が優る、萌芽数も高濃度が優る。乾物率は低下。 穂の発根率は100%で区間差ないが、発根長は600PPmで劣る傾向、採穂部位では、各抜トップ位置の発根長劣る。	
7	49	既存作型における時期別出荷量、販売価格調査。	池田町	内山 さん	45、47、49、3ヶ年 6～12市場の経営実績を分析	1回ピンチ主体の経営では、9月4半旬を堺として、年平均指数は出荷と単価が逆転し、出荷量は100以下、単価は100以上となる。出荷減に対応する作型が必要。	
8	49	1回摘芯秋切り作型の栽植密度試験	池田町	内山 さん	5月1日植無加温ハウス15cm×15cm 15×7.5、10×10、10×5、7.5×7.5 3本仕立て 品種粧。	10×10cm、m <sup>2</sup> 当たり100本植 発生枝数410本、切花本数286本、8月25日から80%収穫まで47日が限度。	
9	49	1回摘芯秋切り作型と品種	池田町	内山 さん	5月8日直接定植ホワイトシム 5月29日直接定植 粧、千曲、大分一号	ホワイトシム 8月25日から収穫率87%、粧 10/10～収穫率76%、大分一号10/25～収穫率45%、千曲 9/20～収穫率89%。 晩生種は早植必要。定植期の中は1ヶ月内外である。	
10	50	育苗センターの効率利用を前提とした挿芽時の病害感染防止技術の確立。	岡谷市 育苗センター	今井 さん 岡谷市農技連	挿し穂の薬剤浸漬の有無、冷蔵の有無、トリミングの有無、発根剤の種類、処理法挿芽用土の種類の組み合わせによる処理。	サラシ粉、アンチホルミン処理はトリミングで発根は良いがロウ質損傷、後の生育で劣る。 ミスト下の場合、無冷蔵の場合、水上げなしのオキシベロン0.5 粉が可。 冷蔵したものは、トリミングを加えると良。穂の大きさは調整後3節より4節が良。 くん炭よりパーライトが良。	
11	51	蒸気土壌消毒に対応する施肥体系の確立—有機素材によるNの肥効特性調査	岡谷市	武井 さん 施肥協 岡谷市農技連	1月23日施用、2月11日消毒、2月13日定植、カーネーション生 3t/10a、牛糞(生)3.2t、牛糞(堆)3.2t、チップ(生)2.8t、チップ(堆)3.5t、樹皮堆肥3.5t、堆肥(ワ)3.2t、生ワ1.2t、モミガラ(生)2.8t、魚粕0.32t、で消毒の有無	無消毒に比べ、蒸気消毒はEC、NO <sub>3</sub> -Nは低め、NH <sub>4</sub> -Nは高く、しかも長期間維持するので初期のN O <sub>3</sub> -N、有機の量に注意必要。 生ワラ、モミガラは消毒の有無にかかわらず、チップ堆肥は消毒により40～50日頃よりNが収脱されるので管理が必要。 蒸気消毒区は生育良く、開長期も早まる。又、後半、生ワラ、モミガラ、生チップはN欠症状が認められる。蒸気消毒では堆肥量を多くする。	
12	51	蒸気土壌消毒に対応する施肥体系の確立—蒸気土壌消毒連年実施口場に対する客土の効果	岡谷市	武井 さん	川土(諏訪湖土) 30t/10a、60t、90t 山土 30t、60t、90t、ベントナイト10t、無処理	生育中の草丈は山土30t、川土60t、無処理が良、開花期は川土90t、60t、が早い、切花本数は山土30t、川土60tが勝った。2番花の立本数は客土区がいつでも多いので、工夫すれば いづれの客土区も効果は上がる。ベントナイトは不良。	